



落ち葉が赤や黄、オレンジ色へと姿を変え、深まる秋を感じられる頃になりました。子ども達は、落ち葉を踏んで音や感触を楽しんだり、集めてちぎってままごとをして遊んだり、秋の自然に触れながら楽しく過ごしています。朝夕が冷え込み、体調を崩しやすいこの時期、ご家庭でも健康管理に十分心がけていただき、毎日元気に登園できるようご協力をお願いします。インフルエンザも流行り出す時期になってきますので、予防を十分をお願いします。以上児の子ども達のリズム発表会に向けた練習も本格的に始まり、はりきって取り組んでいます。ご家庭でもたくさんの励ましの言葉をかけてあげてください。

## < 行事予定 >

- 11/1 (金) 給食会議、調理師健康管理
- 2 (土) } 町民文化祭
- 3 (日) }
- 5 (火) 遊具点検
- 6 (水) } 作品展
- 7 (木) }
- 11 (月) 避難訓練
- 18 (月) 身体測定 (黄・青・すみれ組)  
遊具点検
- 19 (火) 身体測定 (赤・白組)
- 22 (金) 職員会議
- 25 (月) 誕生会

12/1 (日) リズム発表会



## < 保育目標 >

～風邪をひかない丈夫な体をつくろう～

### 「手洗い・うがいをしよう」

・風邪やインフルエンザなどの感染症予防には、手洗いやうがいが効果的です。手洗いでは、石鹸を泡立て、親指や指先、指の間なども丁寧に洗うようにしましょう。うがいは、上を向き、水がのどの奥まで届くようにし、のどの粘膜に付着した菌をしっかりと洗い流すようにしましょう。

### 「薄着の習慣をつけよう」

・日中に比べて朝夕ひんやりするようになり、重ね着をする子も増えてきました。子どもは汗をよくかき、冷たい風に当たると体温が奪われ冷えてしまいます。体が外気温や室温にうまく順応できるように薄着の習慣をつけて下さい。大人より一枚少なめを目安にして着せて下さい。

### 「乾布摩擦をしよう」

・乾布摩擦は皮膚を鍛えて、体温を調節する機能を強くするための健康方法です。メリットとしては、体温調節する機能が強くなるために、寒さに強くなることができます。また、風邪などの予防にもなります。園でもこれから冬に向けて取り組んでいきたいと思えます。

## < 職員研修 >

- 11/1・14・19 <於 坂井市>  
保育士等キャリアアップ研修  
「保護者支援・子育て支援」 時岡由佳
- 11/5・28 <於 福井市>  
保育士等キャリアアップ研修  
「食育・アレルギー対応」 大塚敦枝
- 11/28 <於 小浜市>  
「感染症予防研修会」 小原菜々

## 【家庭連絡】



### < 町民文化祭のご案内 >

◎11/2 (土)・3 (日) の町民文化祭で、黄組、青組、すみれ組の子ども達の絵が展示されます。ぜひ足を運び、ご覧になって下さい。

### < 作品展のご案内 >

◎11/6 (水)・7 (木) はこども園の遊戯室で作品展を予定しています。子どもたちが様々な工夫を凝らし、頑張って作り上げた作品をご覧下さい。(AM8:00～PM5:00)

### < 幼児音楽リズム発表会のご案内とお願い >

◎12/1 (日) は幼児音楽リズム発表会を予定しています。3・4・5歳児は毎日頑張っており、練習に取り組んでいます。曲に合わせて身体表現やリズム打ち、また、笛の合図でいろいろな隊形等、どのクラスも子ども達の元気な掛け声と自信を持った発表ができることでしょうか。総合体育館での練習も始まっていますので、毎日練習に参加できるように、食事・睡眠など生活リズムを崩さないよう健康管理に気をつけて下さい。9時までに登園し、園生活がスムーズに始められるようにサポートをお願いします

## 【お願い】



### < 衣服について >

・きつめの服・ヒモ付きの服は、遊具に引っかかりとても危険ですので、フードとヒモの付いてない服を着せて下さい。また、ポケットの多いズボンや服は砂が入ります。手が隠れてしまう長袖・すそを引きずる様な長いズボン・ゴムのゆるくなったズボンも危険ですので、体にあった活動しやすい服装にして下さい。

### < 記名をもう一度確かめて下さい >

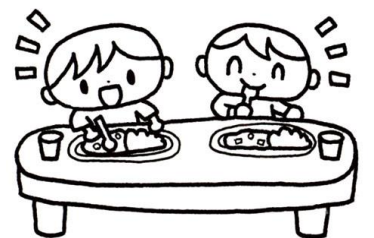
\*持ち物・衣類に名前が書いてなかったり、消えていたりして持ち主が分からず、困ってしまうことがあります。お下がりやもらい物にもきちんと名前を書き直して下さい。また、靴下を履く季節になりました。消えない所に分かるようにしっかりと記名して下さい。

### < 駐車場の利用について >

\*園舎前駐車場と東側駐車場の一部は、一方通行になっています。進行方向の標識通りに入出場して下さい。ルールを守って利用して下さい。

## ☆ 楽しく食べる子どもに育てよう ☆

幼児期の子どもの食事でもっとも大事なことは「楽しく食べること」です。楽しく食べる子どもに育てるために大切だと言われていることがあります。



### ① お腹がすくリズムを持つ

規則正しい生活の中でできるだけ決まった時間に食事をとったりおやつを食べたりすること、また体を十分に動かして遊ぶこともとても大切です。空腹感や食欲を感じ、それを満たす心地よさを感じられるようにしましょう。

### ② 食べたいもの、好きなものが増える

色々な食材に親しみ、見て、触ることで食べたいという意欲が育ちます。その意欲を大切に、五感を使って新しい食べ物に関心を持ち、おいしさの発見を繰り返す経験をしていきましょう。

### ③ 一緒に食べたい人がいる

「みんなで食べるとおいしい」と感じるのは、相手と気持ちが通じて心がわくわくしているからです。家族で食卓を囲み、楽しい雰囲気や会話を心掛け、みんなで食べる楽しさをたくさん感じたいですね。

### ④ 食事づくり、準備に関わる

野菜を洗う、皮をむく、ちぎる、切る、テーブルを拭く、食器を運ぶなど、積極的に食事作りや準備などのお手伝いをしてもらいましょう。生きる力を育み、家族とのコミュニケーションも図ることができます。

### ⑤ 食べ物を話題にする

食べ物には、色、形、名前、食感、味、栄養、産地など五感で感じられる情報がたくさんあります。食事中はもちろん、絵本や遊びを通して食べ物を話題にし、興味や関心を持てるようにしましょう。

